



松山市公民館連絡協議会

copyright(c) 2004 Matsuyama Citizen Public Community all right reserved



♩-101 公民館の歌 (自由の朝) 作詞 山口晋一 作曲 下総統一

へこいわの はるに あたらしく
はたらくもの の やすらかに

きょうどをおこすく よろこびも こうみんなの
きょうどにひらさる たのしさも こうみんなの

つどいからとしま けぼと あーう こころな こつ やーかしき
つどいからとしま いーに こむに うむと くとーしき

に いにし じゆの あさを たくとえよ
あ すへの ちから そだてよ

PLAY OFF



平和の春に あたらしく
郷土を興す よろこびも
公民館の つどいから
とけあう心 なごやかに
自由の朝を たたえよう

心の花の におやかに
郷土にひろく ゆかしさも
公民館の つどいから
希望を胸に 美しい
文化の泉 くみとろう

働くものの 安らかに
郷土に生きる たのしさも
公民館の つどいから
まどいになごむ ひとときに
明日への力 そだてよう

昭和21(1946)年7月、文部次官通牒により「公民館の設置」が奨励され、これを受けて9月に「公民館設置促進中央連盟」が結成されました。翌昭和22年に連盟が毎日新聞社とタイアップし、文部省後援により公民館活動の理念を示す「公民館の歌」の歌詞を全国公募しました。その結果、全国から1017件の応募がありました。審査には、作家の川端康成をはじめ、文部科学省、東京音楽学校、毎日新聞社、日本放送協会、日本レコード協会などの面々からなる、そうそうたる審査団が組織され、厳正な審査の結果、見事特賞に選ばれたのは、千葉県館山市在住の山口晋一さんの作品でした。その作詞したものに、東京音楽学校教授の下総統一氏が作曲をしました。

受賞に際して山口さんは、「明るい文化がうちたてられてゆくためにはどうしても公民館のような機関が必要だと思えます。これが公民館の設立のための一つの推進力として役立てばなおさらの喜び」と語っています。

以来、毎年開催される全国公民館研究集会や、各公民館ブロック大会、都道府県公民館大会などにおいて、今なお山口さんの「公民館の歌」が歌われ続けています。「公民館の歌」は、昭和39年にレコード化されました。

なお、作詞者の山口晋一さんは、現在館山市に住んでおり、96歳になります。